

(別紙2)

## 委員会における選考の視点

1. 地域に根ざした取組となっているか
  - ・これまでの活動の成果等に裏付けられた提案であるか
  - ・目的に他の半島地域の参考となるモデル性があるか
  - ・具体的な内容に他の半島地域の参考となるモデル性があるか
  - ・地域の多様な主体が参画する体制を志向しているか
  - ・地域の課題等に対して、何をどのように変えたいか、など狙いが明確になっているか
2. 本調査の趣旨を十分理解しているか
  - ・取組の必要性等が本調査の趣旨に沿っているか
  - ・半島振興対策実施地域での活動が想定されているか
  - ・適切な価値提供が想定されているか
3. プロジェクトに実現可能性はあるか
  - ・具体的な内容が提案されているか
  - ・内容及び活動計画に対応した活動範囲が想定されているか
  - ・具体的な活動ないし作業が記述されているか。また、スケジュールが具体的に想定されているか
  - ・実施に必要な支出が具体的に見込まれているか
4. 一過性の活動に終わらず、来年度以降も継続される可能性が見込めるか
  - ・成果の活用について明確な見通しを描いているか
  - ・活動計画の最終段階で活動を振り返る機会が想定されているか
  - ・一定の自己資金を確保しているか
5. 活動の成果、効果を地域に拡げようとしているか
  - ・実施主体だけでなく、地域の住民・団体が幅広く参加するような活動が想定されているか
  - ・成果の地域への還元等について具体的に想定されているか
  - ・調査費が何らかの形で地域に対する支出に充当されるか
6. 「半島らしい暮らし・産業」創生につながる新しいモデル性があるか
  - ・従来の取組や他地域事例の踏襲ではなく、新規性やオリジナリティあるモデル提案となっているか
  - ・他の半島地域に参考となるモデル性があるか
  - ・「半島らしい暮らし・産業」の創生につながる取組としてのインパクトが意識されているか